

令和6年度 第1回文化財保護委員会 会議録

開催日時	令和6年5月22日 水曜日 13時30分から14時30分まで
開催場所	二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1
出席者	島崎直人委員長、古宮雅明副委員長、細井守委員、宮原俊一委員 和田智司教育長
事務局	椎野教育部長、二見生涯学習班長、石坂副主幹 中山会計年度任用職員
その他	傍聴者1名

*会議次第および資料は、別添ファイルのとおり

会議記録

(司会：二見生涯学習班長)

1. 開会

2. 委嘱状の交付

3. 教育長挨拶

4. 自己紹介

出席者及び事務局

5. 委員長、副委員長の選出

委員長に島崎直人氏、副委員長に古宮雅明氏を選出

6. 議題

(1) 令和6年度文化財保護関係事業及び予算について
事務局より資料に基づいて説明【資料1】

(2) ラディアンギャラリー展示について
事務局より資料に基づいて説明【資料2】

(委員) 海に関する展示については、海岸線が変化しているので自然の変化という面や、文学作品に書かれた二宮の海岸、絵葉書になった漁場なども考えられる。

(事務局) いろいろな切り口から、二宮の海岸と暮らしを見てもらえる展示にする予定である。

(3) 二宮町の埋蔵文化財について

事務局より資料に基づいて説明【資料3】

(委員) 神奈川県内には外国人遊歩規程の標石が埋められているところもあるが、二宮町ではどうか。

(事務局) 吾妻山の頂上に第40号の標石がある。現在は標石が劣化しないよう埋められたままになっているが、その場所に写真が載った説明板が立っている。

実は5年ほど前に、外国人遊歩規程の標石については神奈川県議会でも取り上げられ、神奈川県教育委員会が各市町に残る標石の調査をすることになったのだが、新型コロナウイルス感染が拡大し、調査が中断した。県の文化遺産課からは昨年6月に、これから徐々に現地調査を再開していくとの連絡を受けたので、また何か進展があったら報告する。

(委員) 相模湾沿岸には第2次世界大戦の時に造られた陣地が多く残っているが、二宮町ではどうなっているか。いわゆる戦争遺跡は指定をしないと壊されてしまう危険がある。

(事務局) 二宮町の陣地については「戦時下の二宮を記録する会」が数年に渡り悉皆調査をし、その結果を『二宮町の洞窟陣地』という本にまとめている。吾妻山には2つの陣地が残っている。指定については、どのような形がとれるのか考えていく。

7. 閉会